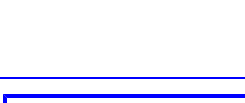

夢に向かって

自動車科通信

第二回
発行
祐誠高等学校
自動車科

久留米市上津町
２１９２
ＴＥＬ
0942-22-1238

92%の合格率

３級自動車整備士国家試験

日々進歩している自動車産業界へ、これまで多くの中堅技術者を送り出している、　誠高校自動車科では

＊「　誠高校で三級整備士」
＊「２年後には二級整備士」
＊「また２年後に一級整備士」

という目標を掲げ三級整備士資格取得に向け、職員・生徒が一丸となって毎日の授業に取り組んでいます。一年時では基礎教育を、二年時ではエンジン・トランスミッシヨンをはじめ車両に搭載されている主要部品の分解組立を、そして三年時では車両完成検査を中心に整備技術の更なる向上をめざし、授業を進めています。近年、先生方の熱心な指導と同時に、生徒諸君の三級自動車整備士国家取得に対しての意欲が強くなり

ここ三年間の合格率が、
⑰年度が七三、三％
⑱年度は八〇、七％
⑲年度は九一、七％
と、上昇しています。

しかし満足はしていません

しかし自動車科ではこの数字にはまだまだ満足はしていません。自動車産業界は近年九州、特に北九州地区への進出が目立ってきています。日産は「京都郡苅田町に」トヨタは「宮若市に」ダイハッは「久留米市田主丸に」‥‥‥。九州はまさに自動車産業界の中心になっています。『夢の百％合格』。確かな手応えを感じています。

先輩は今　Ｆ３レーサー『井口卓人』

大分県 オートポリスで凱旋勝利

全日本Ｆ３選手権 開幕３連勝達成

２００６年自動車科卒業の「井口卓人」

在学中に、カートの世界で全日本を制覇した彼はその後、厳しい選考基準をクリヤしＦ１進出を遂げていたトヨタの支援を受け、日本及び世界で活躍できるドライバーを育てるための、フォーミュラ・トヨタレーシングスクール（ＦＴＲＳ）に活躍の場を移していた。この年、観客数２９００を集めて行われた富士スピードウェイでの最終戦、日本人ドライバーに限らず、世界各国の優秀なドライバーを育てている「トヨタ・ヤング・ドライバーズ・プログラム（ＴＤＰ）」の３人衆と言われるまでに成長し、トヨタのマシンを操っていたのだった。

数々の難関を乗り越えた「井口」。彼は２００７年もＴＤＰの一員としてトヨタとの契約を結ぶことが出来た。

毎日が過酷な戦いの連続であった。Ｆ３への昇格をかけて戦ったＦ３トップシート・オーデシヨンでは、Ｆ３トップシート獲得という快挙に輝きここに２００８年Ｆ３での参戦が許された。この時「井口を称えるこんなレポートが記載されていた。『完壁に嚙み合ったときの「井口」の早さは、誰もが認めるところである』

明日という約束を許されないＦ１レーサーへの厳しい道程。そんなとき、彼からこんなメールが自動車科に届いた。「今年が勝負の年です。気合いを入れて頑張ります」。晴れてＦ３レーサーとなった「井口」は逞しさをまし、

２００８年４月２６日」大分県の国際公認サーキット場オートポリスに帰ってきた。　ＴＤＰドライバー「井口」の地元九州での凱旋レースとなったのだ。大会には、　誠チヤリーダー７名、グリン・ボード１６名も参加し大会を大いに盛り上げてくれた。今季ここまで開幕２連勝を飾り好調を維持している「井口」は、第３戦レースではスタート直後に接触というアクシデントがあったにも関わらず、圧倒的強さで２位を３秒近く引き離し、開幕から３連勝を成し遂げた。

開幕からの第２戦では富士スピードウェーでコースレコードを樹立し、開幕からの２連勝は、現Ｆ１レーサーの「中嶋一貴」以来であり、３連勝は全日本Ｆ３史上初の快挙である。

『井口卓人』

夢の「Ｆ１レーサー」が、更に近づいた。

自動車科では今年から「ほうれん草」運動を行っています。

ホウレンソウ

〔報〕報告は確実に・的確に行おう
〔連〕連絡は確実に・的確に行おう
〔相〕何事も相談して、的確な解答を出そう

自動車科は
自転車運転ルールを守ります

一、雨天時は傘さし運転致しません
一、車道では左側通行を守ります
一、歩道では歩行者優先守ります
一、二人乗り・並列走行はやりません

ないしょ

〔Ｆ３豆知識〕

Ｆ３とは、自動車レースの『最高峰Ｆ１（フォーミュラ・ワン）、そこから数えて三番目に位置するカー・レース、それがＦ３です。Ｆ１ドライバーを目指す人選された若手ドライバーが腕を磨くレースで、プロ野球に対する高校野球を想像してください。マシンの差が大きいＦ１と違い、マシン（２０００ｃｃ・２１０馬力に統一）の差が出にくいＦ３ではドライバーの力量が問われるレースとなっております。すなわち、ここで勝ち上がることがＦ１ドライバーの重要なステップとなります。Ｆ３では最高速度２７０ｋｍ／ｈで争われる国別・地域別選手権です。

〔フォーミュラ・トヨタ（Ｆ４）マシン解説〕

エンジンやシャシ、タイヤだけでなく、主要パーツの殆どがワンメークされているレースです。使用されるエンジンは、４Ａ－ＧＥエンジンの５バルブバージョン、直列４気筒１６００ｃｃ・１７０馬力にも達し、ドライバーを含めた車両の最低重量は５６０ｋｇという軽さである。ここでも時速２６０ｋｍ／ｈで争われます。

大分県
オートポリス